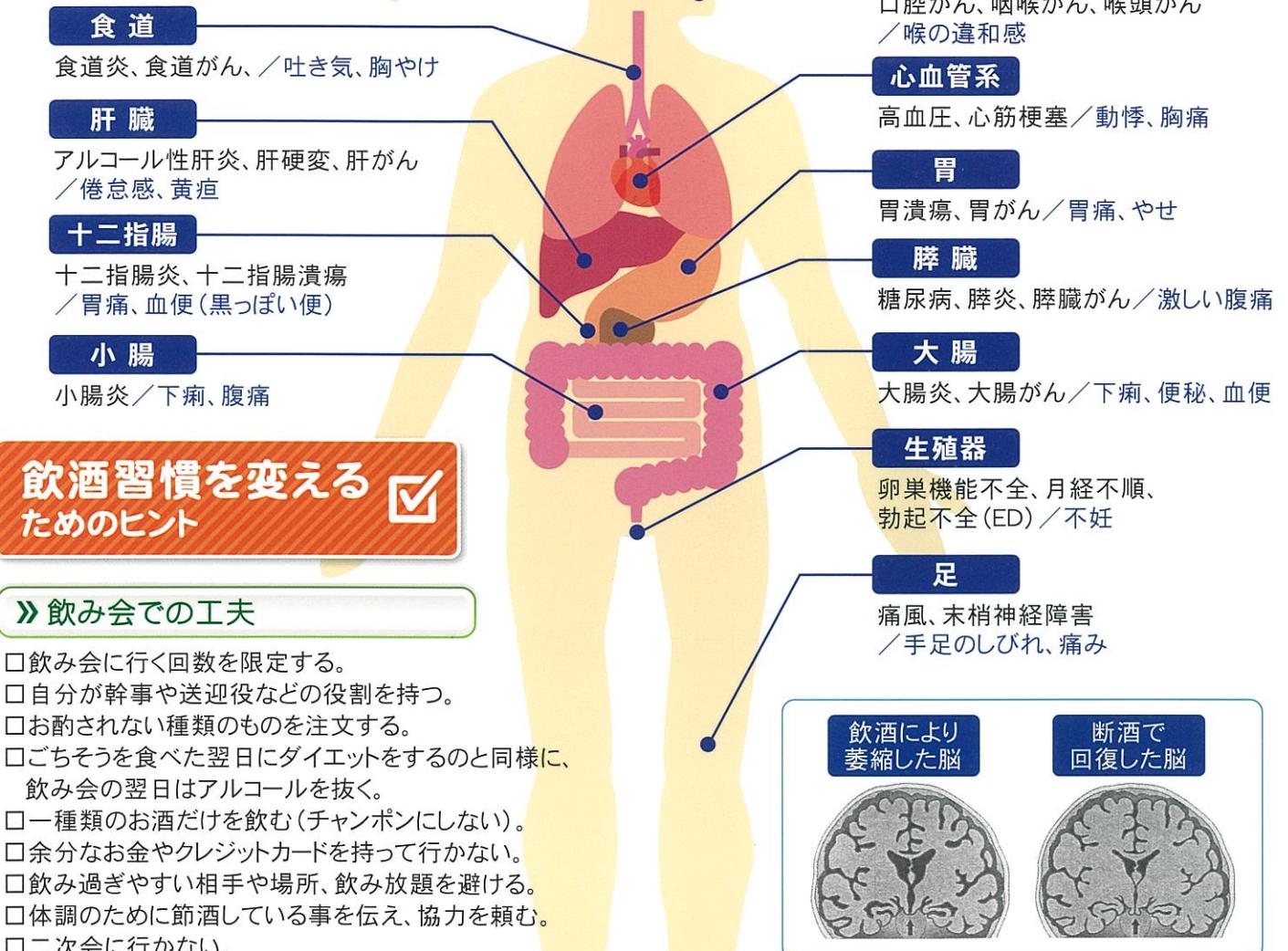


アルコールによる 身体影響



明日を笑顔で、
迎えるために！



お酒と上手に付き合う暮らしを。

熊本県精神保健福祉センター

〒862-0920 熊本県熊本市東区月出3丁目1-120

熊本県内の
相談機関窓口

熊本県精神保健福祉センター ☎ 096-386-1166 (受付時間／平日9:00～16:00)
熊本市こころの健康センター ☎ 096-362-8100 (受付時間／平日9:00～16:00)

各保健所の連絡先

有明保健所	荒尾市・玉名市・玉名郡	☎ 0968-72-2184	山鹿保健所	山鹿市	☎ 0968-44-4121
菊池保健所	菊池市・合志市・菊池郡	☎ 0968-25-4138	阿蘇保健所	阿蘇市・阿蘇郡	☎ 0967-24-9030
宇城保健所	宇土市・宇城市・下益城郡	☎ 0964-32-1207	御船保健所	上益城郡	☎ 096-282-0016
八代保健所	八代市・八代郡	☎ 0965-33-3229	水俣保健所	水俣市・葦北郡	☎ 0966-63-4104
天草保健所	天草市・上天草市・天草郡	☎ 0969-23-0172	人吉保健所	人吉市・球磨郡	☎ 0966-22-3107

熊本市の各区役所保健こども課の連絡先

中央区役所	☎ 096-328-2419	東区役所	☎ 096-367-9134	西区役所	☎ 096-329-1147
南区役所	☎ 096-357-4138	北区役所	☎ 096-272-1128		

お酒も健康もあきらめたくないあなたへ

あなたが該当するもっとも近い回答を選び、その番号を記入してください。
回答が終わったら、数字の合計点を最後の欄に記入してください。

2ドリンクの目安

純アルコール
20グラム相当



Q1 あなたはアルコール飲料をどのくらいの頻度で飲みますか?

- ① 飲まない ② 月1回以下 ③ 月2~4回 ④ 週2~3回 ⑤ 週4回以上

Q2 飲酒するときには通常どのくらいの量を飲みますか?

- ① 1~2ドリンク ② 3~4ドリンク ③ 5~6ドリンク ④ 7~9ドリンク ⑤ 10ドリンク以上

Q3 1度に6ドリンク以上飲酒することがどのくらいの頻度でありますか?

- ① ない ② 月1回未満 ③ 月1回 ④ 週1回 ⑤ 毎日あるいはほとんど毎日

Q4 過去1年間に、飲み始めると止められなかつたことが、
どのくらいの頻度でありましたか?

- ① ない ② 月1回未満 ③ 月1回 ④ 週1回 ⑤ 毎日あるいはほとんど毎日

Q5 過去1年間に、普通だとおこなえることを飲酒していったために
できなかつたことが、どのくらいの頻度でありましたか?

- ① ない ② 月1回未満 ③ 月1回 ④ 週1回 ⑤ 毎日あるいはほとんど毎日

Q6 過去1年間に、深酒の後体調を整えるために、朝迎え酒をしなければ
ならなかつたことが、どのくらいの頻度でありましたか?

- ① ない ② 月1回未満 ③ 月1回 ④ 週1回 ⑤ 每日あるいはほとんど毎日

Q7 過去1年間に、飲酒後に罪悪感や自責の念にかられたことが、
どのくらいの頻度でありましたか?

- ① ない ② 月1回未満 ③ 月1回 ④ 週1回 ⑤ 每日あるいはほとんど毎日

Q8 過去1年間に、飲酒のため前夜の出来事を思い出せなかつたことが、
どのくらいの頻度でありましたか?

- ① ない ② 月1回未満 ③ 月1回 ④ 週1回 ⑤ 毎日あるいはほとんど毎日

Q9 あなたの飲酒のために、あなた自身や他の人が
けがをしたことがありますか?

- ① ない ② あるが過去1年にはない ③ 過去1年間にある

Q10 家族や親戚、友人、医師、あるいは他の健康管理に携わる人が、
あなたの飲酒について心配したり飲酒を控えるよう勧めたことがありますか?

- ① ない ② あるが過去1年にはない ③ 過去1年間にある

あなたの日ごろのお酒の飲み方

点

あなたの飲酒習慣の評価を AUDITで確認しましょう

AUDITとはWHO(世界保健機関)の調査研究により作成された、
飲酒習慣を振り返るための自己診断テストです。

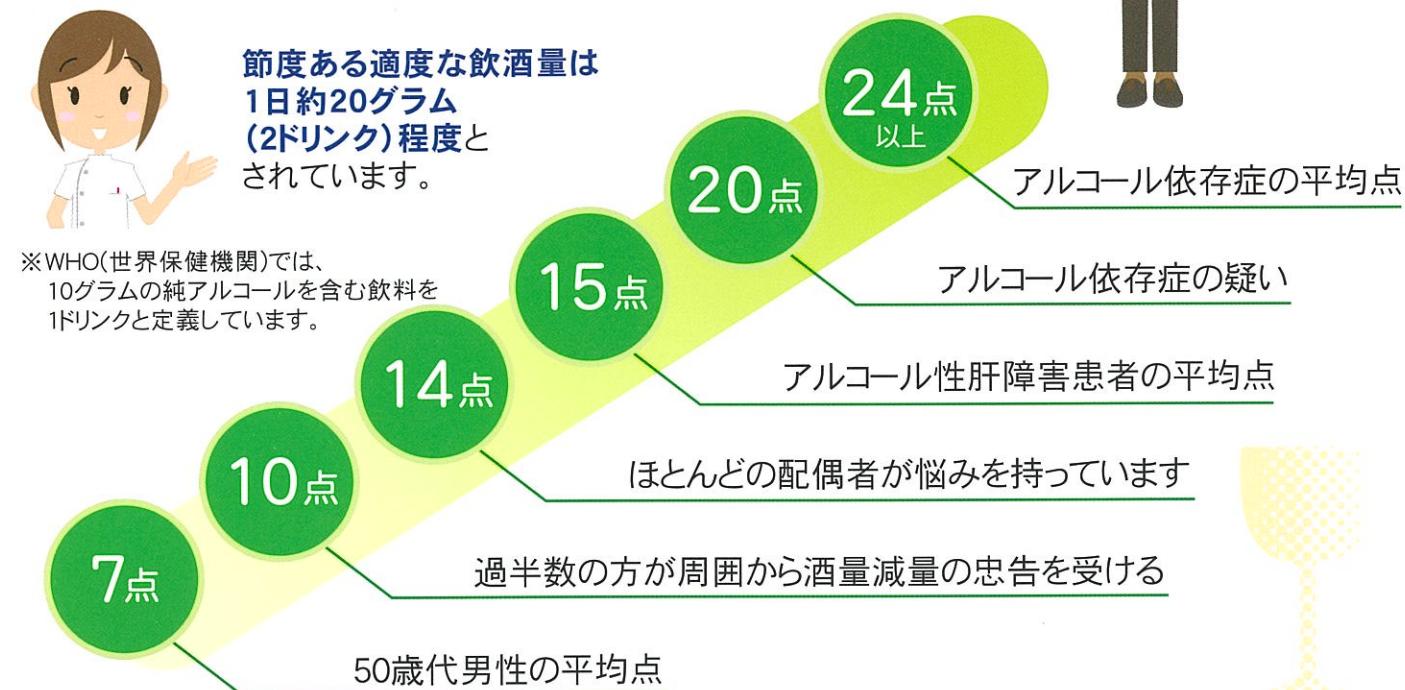


点数が低いほど
健康的な飲み方と
いうことです。



節度ある適度な飲酒量は
1日約20グラム
(2ドリンク)程度と
されています。

※WHO(世界保健機関)では、
10グラムの純アルコールを含む飲料を
1ドリンクと定義しています。



0~9点の方

今このところあなたの飲酒の飲み方にあまり大きな問題はないようです。
今後も健康的なお酒との付き合いを心がけてください。
1日2ドリンク(缶ビール500mL1本か日本酒1合弱)以下にしましょう。

10~19点の方

現在のお酒の飲み方を続けると、今後お酒のために
あなたの健康や社会生活に影響が出る恐れがあります。
これまでのお酒の飲み方を修正したほうが良いでしょう。

最後のページの「飲酒習慣を変えるためのヒント」を参考にしてみましょう。

▶生活習慣病を治療中の方 高血圧・糖尿病・脂質異常症など

現在のお酒の飲み方を続けると、お酒が現在治療中の病気の回復の妨げになるばかりか、病状を悪化させる恐れがあります。

まずは2週間お酒を飲むのをやめ、お酒が体に与えた影響を確かめましょう。

20点以上の方

現在のお酒の飲み方だと、アルコール依存症が疑われます。
あなたの健康だけでなく家庭や職場での生活に
悪影響が及んでしませんか。

今後のお酒の飲み方については一度専門医への相談を具体的に考えましょう。
診断によっては断酒が必要となります。